

平塚市ごみ通信

発行 平塚市 環境部 資源循環課（平塚市浅間町9-1）

TEL : 0463-21-9763（直通） FAX : 0463-21-9603

（平塚市のホームページでも掲載しています）<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/shigen-j/gomi-top.htm>

平塚市ごみ処理状況

平成22年度のごみ処理状況を報告します。焼却処理量は目標値の71,718tを約3,000t下回る68,751tでした。減量に対する御協力ありがとうございます。また、リサイクル率は前年より1.2%向上しました。引き続き減量化や資源化に御協力をお願いします。

リサイクル率

19年度	19.9%
20年度	20.2%
21年度	20.2%
22年度	21.4%



年度	ごみ総排出量（※）	焼却処理量	ごみ処理経費
19	99,564 t	78,165 t	31億5041万円
20	96,235 t	75,660 t	32億6411万円
21	91,945 t	72,269 t	27億7061万円
22	88,959 t	68,751 t	28億1818万円

1人当たりのごみの排出量（※）

19年度	1,045 g
20年度	1,008 g
21年度	968 g
22年度	935 g



1人当たりのごみ処理費

19年度	12,105円
20年度	12,517円
21年度	10,642円
22年度	10,807円

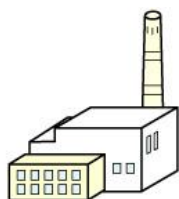


※し尿処理量を含んだ数字です

節 電

燃せるごみの排出抑制など今夏の節電対策、御協力ありがとうございました。

東日本大震災に伴う電力使用制限令を受け、環境事業センター（焼却施設）も3炉ある焼却炉のうち、平日は2炉のみの運転となりましたが、皆さまの御協力により、安定的なごみ処理を行うことができました。



昨年夏のピーク時の電力

1378kW

今夏のピーク時の電力

975kW

—約30%

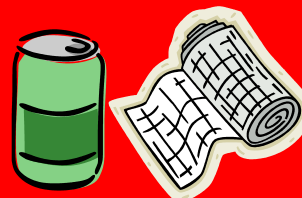
今後のごみ処理も、電力の供給量に応じて対応します。

安定的なごみ処理を行うために、引き続き、皆さまの御協力をお願いします。

資源再生物は 持ち去り禁止！

平塚市さわやかで清潔なまちづくり条例では、資源再生物の持ち去りを禁止しています。

※違反した場合には、罰金（5万円以下）が課される場合があります。





守れていますか？ 正しいごみの出し方



段ボール箱を ごみの容器にしないで！



段ボールは資源再生物です。段ボールをごみの容器として出してしまうと、資源として再生されないばかりか、焼却工程で機械に詰まり、効率的な燃焼を阻害する要因にもなります。

缶類はつぶさずに びん・缶類は分別してコンテナへ



缶はつぶさない

収集された缶は、リサイクルプラザへ運ばれて圧縮され、再資源化業者に運ばれていきます。



缶をつぶすと、この圧縮作業をする時に上手く結着せずにはがれてしまったり、機械にはさまったりするなど、処理の妨げになります。

びん・缶は分別してコンテナへ

びんや缶を分別しないまま、コンテナへ入れている事例があります。必ず分別してから出してください。

ふとん・カーペット類 の正しい出し方

ふとんやカーペット、ラグマットなどは、そのままでは「燃せるごみ」でも「資源再生物」でもありません。最近、集積所に出される事例が目立っています。次の方法で処分してください。

- ①【有料】環境事業センター（大神）へ搬入
- ②【有料】「臨時ごみ」として環境業務課へ収集を依頼（電話：21-8796）

※臨時ごみなので、基本的には上記①・②の処分方法になりますが、③の方法でも出すことができます。

- ③ 座布団大以下（60cm×60cm以下）の大きさに切り、ひもで縛って「燃せるごみ」へ（※羽毛布団は①か②の方法で処分してください。）





火災の原因！ ライター・スプレー缶はガス抜きを

ごみ出しルールを守らず出すと、収集車や施設の火災の原因になります！

- ライターは「燃せないごみ」の日に赤い乾電池ボックスへ入れてください。
- スプレー缶は使い切り、穴を開けて「資源再生物」の日にコンテナ（黄色）へ入れてください。

プラクルの正しい出し方

「プラクル」として出せるのは  マークの付いた物だけです！
（ の付いていない製品は「燃せないごみ」へ）

ペットとプラクルは分けて排出を



①汚れをとる



②透明・半透明の袋に入れて集積所へ出す